

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 学校教育課												
	作成責任者	崎山 正人												
	事業名	高等学校等入学支度金支給事業												
	会計情報	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費	会計	一般会計	事業コード	620231	決算付属資料	222	頁
	施策体系	施策コード	020401	施策名	高等学校による人材育成を支援する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市高等学校等入学支援金支給要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な高校生の保護者に対して入学時に支援金を支給することにより希望進路の実現を図る。												
	対象者	市内在住の高校1年生の保護者	対象者数	639	単位あたりコスト	8.2								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な高校生の保護者に対して入学時に支援金を支給する。 入学支度金額 通信制以外の高校 31,500円 通信制高校 22,500円												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		扶助費	入学支援金										725	
役務費		郵送料										17		
需用費		周知用チラシ色上質紙										12		
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			2,628	886	870
		②補正予算					
		③流充用額					
		④繰越額計			0	0	0
	前年度繰越						
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源			2,628	886	870
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		/	0.33 / 0	0.33 / 0	
⑤概算人件費				2,640	2,640		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				5,268	3,526		
⑦執行額				754			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				28.7%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		受給者数	人			23	/ 28	28
		希望進路(高校進学)をかなえた割合	%			100	/ 100	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		申請者数	人			40	/ 40	40
		単位あたりコスト				18.9		
チラシ配布枚数	枚			1600	/ 1600	1600		
単位あたりコスト				0.5				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	子どもの貧困対策として、低所得階層でありながら類似制度の対象とならない学生の保護者を対象としており、必要な施策である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	低所得階層の学生でかつ同様の他制度と併給は不可としているため、支援を必要とする保護者を対象としている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	小額ではあるが、他の制度に該当しない市内在住の高等学校等へ入学した保護者に対して支度金を支給することにより学資の一助となり子どもの貧困対策として有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	低所得階層の家庭でかつ同様の他制度と併給は不可とし、支援を必要とする保護者を対象としていることから、修学支援や貧困対策として継続が必要な事業である。		
今後の課題及び方向性	受給者となり得るのに申請をされないことがないよう、高校や福祉等関係機関を通して周知を行なっている。今後も関係機関と連携をとりながら有効な周知を行なっていくことが必要である。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近隣他市の同様の事業と全額の比較をして、金額の妥当性を再検討すべき。 ○事業名が実情に合っていない。入学後なので、入学支度金への支給ではない。 ○どういったルートで本事業を知ったのか、申請者にアンケートをとるべき。広報手段の検討を。 ○支援金の金額根拠がわからないので、他市の状況を含めて整理必要(説明できるように)

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】